

**高品質で応える**

**PNEUMATIC SHAFT**

ニューマチック工業 検索

**http://www.pneumatic.co.jp/**

**ニューマチック工業株式会社**

本社 〒555-0043 大阪市西淀川区大野1丁目12番32号  
TEL06-6475-1031 FAX06-6475-0880  
E-mail: sales@pneumatic.co.jp

超軽量CFRPエアシャフト

片持ち式エアシャフト

無償貸出しセール中

シフ取り装置PN-エクスパンダー

**謹賀新年**

本年も宜しくお願い申し上げます。平成25年 新春

シャフトレス機用エアーチャック (MH型)

シャフトレス機用メカチャック

シャフトレス機用エアーチャック (MC型)

ロール搬送用ハンカタイプエアシャフト

**エリール + Water**

プラスウォーター

毎日使える新潤いティッシュ

www.ellair-plus-water.com

大王製紙株式会社

心

を伝えるコミュニケーションには、いつでも紙があります。

人と紙の未来を見つめて

**日本紙パルプ商事**

〒104-8656 東京都中央区勝どき三丁目12番1号 フォアフロントタワー  
電話 03-3534-8522 (代) www.kamipa.co.jp

技術があるから夢がある

**日本製紙パピリア株式会社**

「創造への挑戦」紙の新しい可能性を拓く日本紙通商

日本製紙グループ

**日本紙通商株式会社**

NP TRADING

**王子製紙株式会社**

〒104-0061 東京都中央区銀座4-7-5 TEL03(3563)7100  
http://www.oji-paper.co.jp

「紙は文化のバロメーター」と言われるように、時代の記録を残す一方、日常生活にも欠かせないものとして定着してきた。いくらかデジタル化が進んでも、その重要性は変わらない。国内では少子高齢化の影響から、製紙業界を取り巻く環境は年々厳しさを増している。各社とも海外事業や植林の強化、新技術の開発などに知恵を絞り、新たな付加価値を創出することで成長性を見いだそうとしている。

# 新たな付加価値を創出する 紙・パルプ産業



王子ホールディングスが保有するタイのS. Pack社サハキ新工場（提供＝王子ホールディングス）



豪州で行っている植林の航空写真。河川など水がある地域周辺の植生は残して行っている（提供＝日本製紙グループ本社）

**木を育て増やす 社会貢献と新技術開発**

産業植林 石油資源に限りがある一方で、紙の原料となる木は植林などの取り組み次第で育て、増やすことが可能な資源だ。製紙会社にとっても社有林の保全や、海外植林の強化を進めている。

日本製紙グループ本社は1992年から海外植林プロジェクト「ツリーファーム構想」を展開する。これは木を育てながら毎年成長した分だけを収穫していくものだ。11年度末までの植林面積は約16万3000畧だが、一方、社有林を生かしてユークレイン構想を描く。

将来的には約20万畧への拡大を目指している。王子ホールディングスの海外植林は、インドネシアやニューギニア、ドブリングルなどで展開する。11年度で約25万畧を抱えるが、15年度には約30万畧への拡大を目標に掲げる。

大主製紙がチリで手配する植林地は、5万9000畧になり、このうち2万5000畧は天然林として自然の状態に維持されている。一方、社有林を生かしてユークレイン構想を描く。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、放射性物質の除染や汚染拡大を防ぐための技術開発や新製品も目立った。企業にとって、除染技術とあわせて社会貢献の側面もあり、継続的な取り組みが期待される。

**「高品質」アピール 海外事業の強化加速**

市場・需要動向 日本製紙連合会が2012年12月20日に発表し、2012年11月の紙・板紙の国内出荷推計は前年同期比2.6%減の2301万1000トンだった。このうち紙は同2.8%減の1314万トン、板紙は同2.4%減の987万1000トンとなった。景気低迷もあり印刷用紙のほか、包装用紙も減少傾向が続く。

製紙業界は、太平洋沿岸部に立地する工場が多くが東日本大震災で被災し、大打撃を受けた。そうした中、震災の影響を免れたメーカーによる製品の代替品供給など、各社が協力し合い、苦境を乗り越えてきた。

製紙会社にとって、足元の懸念材料は、依然として高水準の円高を背景とした安価な輸入紙が拡大していることだ。とりわけ、折り込みチラシやカタログなどに使う塗工紙の伸びが高まっており、09年に73万8000トンだった輸入量が、11年には93万トンまで増加している。

各社とも減産を通じて市況悪化の防止に懸命だ。安価な輸入紙と品質の違いをアピールしたい所だが、「食品と違って紙がどういった経緯で作られるのかを意識する消費者は少ない」（関係者）という声も上がる。幅広い用途開発やリサイクル技術など、業界をあげて日系メーカーの品質をアピールする姿勢も、今後は求められるだろう。

海外展開 世界に目を転じると、紙や板紙の生産量は増加傾向にある。11年の紙・板紙の生産量は約3億9000万トンで、生産エリアではアジアの伸びが顕著だ。一方、消費量では中国やインド、インドネ

シア、ベトナム、フィリピンなどといった国が、今後も安定した増加が見込める地域として有望だ。

王子ホールディングスは10年以降、東南アジアにおいて積極的な合併・買収（M&A）を実施。ベトナムでは13年4月の稼働開始に向け、同国で3番目の製造拠点となる段ボール新工場の建設が進む。海外拠点売上高では15年度に売上高3600億円（12年度は1900億円の見通し）を目指しており、東南アジアやインド市場を重点的に攻める。

紙・板紙内需要 (単位・千トン、%)

		内 需	国内出荷	輸 入	輸入/内需
紙	2001	18,972	17,536	1,364	7.2
	2011	16,597	14,775	1,824	11.0
板紙	2001	12,361	11,920	463	3.7
	2011	11,591	11,003	595	5.1
紙・板紙	2001	31,333	29,456	1,827	5.8
	2011	28,188	25,779	2,419	8.6

出典：日本製紙連合会「紙・パルプ産業の現状 2012年版」

**Crecia**

**肌ケア ポイズ**

選ぶなら、肌ケアのポイズ。

素肌と同じ 弱酸性

50cc/23cm 軽快ライト (中量用)

80cc/23cm ライト (安心の中量用)

120cc/27cm レギュラー (多い時も安心用)

170cc/30cm スーパー (特に多い長時間・夜も安心用)

220cc/35cm 安心スーパー (特に多い長時間・夜も安心用)

製品や尿ケアに関する情報は [www.poise.jp](http://www.poise.jp)

ポイズWEBサイト

尿モレに関するご相談

クレシアもしも相談室 03-5719-6890 (受付時間) 10:00~16:00 (土・日・祝日を除く)

製品に関するお問い合わせ

クレシアお客様相談係 03-6665-5303 (受付時間) 9:00~16:30 (土・日・祝日を除く)

ご希望の「お試しサンプル」をもれなくプレゼント!

お申し込みは [www.poise.jp](http://www.poise.jp)

携帯サイトはコチラから▶

日本製紙クレシア株式会社 [www.crecia.co.jp](http://www.crecia.co.jp)

©Registered Trademark of Kimberly-Clark Worldwide, Inc. Kimberly-Clark Worldwide, Inc.の登録商標です。

瞬時に脱泡・脱気!

**静置時間**

ヨコタの脱泡・脱気ポンプがあれば、これまでの静置用タンクは不要です。

作業を中断して、待機してこう

before

泡取りに時間が、かかるな〜

静置時間はゼロで生産効率アップ!

ヨコタ

連続で脱泡・脱気できる!

after

脱泡・脱気ポンプ

0 時間

作業時間短縮

脱泡・脱気ポンプ ASP型

株式会社 **横田製作所**

本社：工場 〒730-0826 広島市中区南島1-3-6  
脱泡 脱気システムチーム  
TEL082 (241) 7234 FAX 082 (504) 1115  
Email: yokota@aquadevice.com

ヨコタ 脱泡 検索